

～幼保小の子どもの学びと育ちをつなぐ～

架け橋通信



第14号

令和7年6月発行

京都市教育委員会 学校指導課
幼保小の架け橋プログラム担当
TEL:075-222-3746

夏の合同研修会を計画しましょう!

夏休みには、普段なかなか実施できない研修を各校園で計画されると思います。その一つに、架け橋プログラムをテーマに加えてみるというのはいかがでしょうか。本号では、夏に開催できる架け橋の研修例をいくつか紹介します。

その1 架け橋プログラムの理論研修

～架け橋プログラムのねらいと教育・保育とのつながりを理解しよう～

京都市では、今年度から全市の小学校区で架け橋プログラムに取り組むことになっています。

しかし、小学校区の実情等により本格的な取組がこれからという学校もあるかと思っています。

これまでの研修によって架け橋プログラムのねらいや進め方を管理職の先生方や主任の先生方にはご理解いただいていると思いますが、他の教職員も理解・共有されているでしょうか。

そこで、全ての教職員を対象とした架け橋プログラムに関する理論研修会を計画してみたいはいかがでしょうか。1時間（60分）あれば十分です。現在の学校教育が目指していることや各校園の教育目標・目指す子ども像などを絡めながら研修会を進めることもできます。



架け橋コーディネーターからの講義

その2 保育参観を伴う合同研修

～保育参観をして、幼児教育から学ぼう～

小学校の先生方が就学前施設の保育を直接観ることは、大変勉強になります。しかし、課業期間中は参観の時間が取りづらいのが実情です。そこで夏休みを活用し、地域にある連携園に協力をお願いして、全ての教職員で参観してみたいはどうでしょうか。就学前施設の先生方の園児に対する声掛けや子どもの見方、子ども達の遊び（学び）を想定した保育環境の設定など、保育で大切にされている「子どもの主体性を大事にした指導の在り方」について直接観ることは、小学校教育にとっても有効です。また参観後、合同研修を行うことで、園が大切にしている保育の進め方を小学校が理解することや、園とは異なる小学校からの視点を通した保育に対する見方や小学校教育とのつながりを共通理解することは、園にとっても有意義な機会となります。1年担任以外の教職員も参観することで、自分事としてとらえ、小学校全体で取り組む意識が醸成されます。



保育参観の様子



参観後の合同研修会

その3 各校園の実践事例からの研修会

～目指す子ども像の育成に向けた取組を交流しよう～

年度当初の架け橋ミーティング（連携する就学前施設と小学校との会議）において、就学前施設の保育方針や小学校の教育目標の共有から、それぞれの小学校区で目指す子ども像や大切にしたい資質・能力を決め、その育成に向けた保育や教育活動を実践されていることと思います。

その実践例を、幼保小で報告しあい、意見交流をすることだけでも、教育・保育を相互理解することにつながります。例えば、就学前施設での5歳児の保育の様子や、小学校のスタートカリキュラムの様子、生活科の学習の様子など、1年生の学ぶ姿や子どもの変容、保育者・教員の手立てなどを協議の視点にするとより有意義な研修会になるのではないのでしょうか。特別な保育・授業の交流でなく、普通の学びを共有することが重要です。



スタートカリキュラムの一場面



樋をつなげて水を流す園児



ジャガイモを収穫したよ!

れっつ ちゃれんじ!!

今からはじめる 架け橋プログラム!!

○架け橋ミーティングで目指す子ども像の共有を!

架け橋プログラムを持続可能な取組にするためには、小学校と連携する就学前施設と架け橋ミーティングを行うことが重要です。取組を始める前に園長先生と校長先生が顔を合わせ、各校園の教育・保育の中で大切にしていることなどを話し合しましょう。その中で、「目指す子ども像」や「育みたい資質・能力」を共有し、ふさわしい言葉を紡ぎながら「共通の視点」を見出していきましょう。

（例）・思考力を育む教育・保育 「感じ 考え 思考する そして論理的思考へ」

- ・「すすんで学ぶ・楽しくかわる・じぶんでできる」
- ・「夢に向かい、つながりの中で主体的に生きていこうとする子」
- ・「楽しく学ぶ・自分で考え行動する・最後までやり遂げる」
- ・キーワードとして…「たくましさ」

○架け橋コーディネーターの活用を!

5月の通知文書「令和7年度「幼保小連携・接続窓口担当者一覧」及び架け橋コーディネーター派遣について（通知）」でもお知らせしましたように、夏休みの研修会で「架け橋コーディネーター」を活用してみましょう。

今回ご紹介した事例以外にも、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を基にした授業や保育の協議会、他校や他都市の実践事例研修など、各校園の取組状況やねらいに応じた研修会になるよう架け橋コーディネーターは対応いたします。 ぜひ、

京都市教育委員会 学校指導課（Tel 222-3746）

まで、ご連絡ください。

今年度、既に30校園に架け橋コーディネーターが対応しています!



本校の学校教育目標や研究主題と絡めた架け橋のねらいや進め方のお話だったので、多くの先生方が自分事としてとらえてくれました。授業改善につながって良かったです。